



一輪車を使う復興作業に

楽押しで **元気 1.8 倍** プロジェクト

お急ぎの方は 6~8 ページ をご覧ください。

イチオシ 楽押し 元気1.8倍！！ 一輪車に、この一本

取っ手の間にベルト → 腰で押す



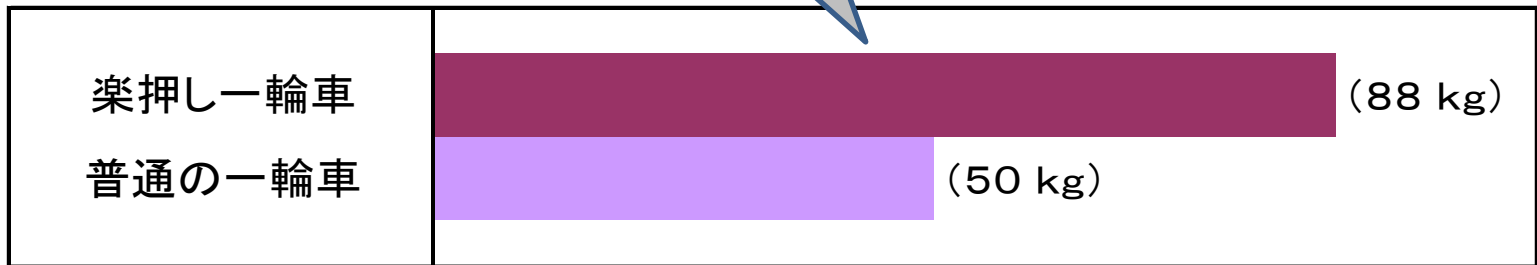


楽押し、あり  
腰で、ひと押し 88kg



楽押し、なし  
腕力で、ムリムリ押しても 50kg

1.8倍の  
荷物を積んで  
溝から脱出できました



# 楽押し



- ・ 不整地で、抜群の働き。
- ・ 簡単（タオル一本や、ガムテープ＋ベルトだけで自作できる）。
- ・ 商品名「タナガード」等の転用も、可（上の写真）。
- ・ 復興現場の「当たり前」 になってほしい。

楽押し一輪車		(88 kg)
普通の一輪車		(50 kg)

# 楽押し 3つの実例

- (1) タオル一本で、元気 1.3倍くらい（一番簡単） ..... 7 ページ
- (2) ベルトと布ガムテープで、元気 1.8倍（これも簡単） ..... 8 ページ
- (3) 既製品の転用（タナガードなど） ..... 10 ページ



当たり前のことばかりですが、

# 楽押し

を使う前に

- ・一輪車にとって、「想定外」の使い方であることを認識すること。
- ・まず、一輪車の点検（故障しそうなところ、ヒビ・サビ・腐食はないか）。
- ・ベルト等も、強度を十分に確認。
- ・「腰や太ももで押す」 + 「手でバランス調整」。
- ・体にも一輪車にも、大きな力が加わる。無理をしないこと。
- ・押す時、足が滑って転ぶと危険。重ね重ね、無理は禁物。
- ・「重いものを（無理に）運ぶ」より、「作業を楽にする」ために。
- ・ここに紹介した方法で万一事故等が生じても、東北農業研究センターならびに岩手大学は、責任を負いません。  
ご自身の責任で、安全を確保して行ってください。

# (1) タオル一本で、元気 1.3倍くらい

【用意するもの】 タオル、一輪車、あなた

【作り方】

- 1) タオルを伸ばして、一輪車の両方の取っ手に渡す。
- 2) 持ち手部分を、タオルの上から握る。
- 3) 横に張ったタオルを、腰や太ももで押して、作業。



1) タオルを載せる



2) タオルの上から、取っ手を握る



3) 腰で押して、働く

## (2) ベルトと布ガムテープで、元気 1.8倍

### 【用意するもの】

布ガムテープ、 丈夫なベルト（ズボンのベルト、ロープ、武道の帯、丈夫な布、等々）

### 【作り方】

- 1) 布ガムテープで、ベルトを左右の取っ手に固定。
- 2) ベルトがずれないように、縦方向にも布ガムテープを張る。
- 3) もう、完成 （次ページに完成例）。



1) 布ガムテープで、左右の取っ手に固定



2) 縦方向にも、固定





腰～太ももに当てたベルトで押せば、  
元気 1.8 倍。



### (3) 既製品の転用

「タナガード(商品名)」など、ベルト既製品の転用も、考えられる。

これも、目的外利用であることに、注意。

タナガード <http://www.ohnet.co.jp/img/tanaguard.pdf>



タナガード（幅 25mm または 50mm。バックルは、なくてもよい）

## (4) おわりに

10年程前、仕事（遊び？）の合間に思いついたアイデアを膨らませ、農研機構東北農業研究センターと岩手大学との共同で形にしたのが、「楽押し」でした。

あまりに簡単なものですし、以前から使われていた可能性も考え、特許等の権利化はしていません。

復興作業で使われる一輪車。そのパワーアップに必ず役立ちます。

## 一輪車 元気 1.8倍 プロジェクト

口コミ、SNSなどで、広く伝えてもらえると、ありがたいです。

2019. 10. 23